

ドリルチョコレート

「カラフルチョコレート」

舞台は男の部屋。そこには誰も居ない。
しばらくすると男が帰ってくる。
鞆をテーブルの上に置き、ネクタイをゆるめる。
冷蔵庫からジュースを取り出す。
背広の上着を脱ぎ壁掛けに掛ける。ジュースを飲み出す男。

座り込みテレビを見ようとリモコンに手をかける。
スイッチを押すが電源が入らない。
何回も何回も押す。電源は入らない。
直接テレビの方に行く。テレビのスイッチを押すが入らない。
コンセントを確認する。
電源は入っているようだ。
手を止める男。部屋の片隅を見つめる。

男 え？

しばらく動かない男。おそろおそろ電話の所に行き受話器を取る。

男 あ、もしもし？警察ですか？どうも。あのですね、あ、いや、事件っていうか、まあ、これからきっと事件になると思うんですけど。
…あのですね、仕事から帰ってきてテレビを見ようと思ったんですよ。そしたらねえ…テレビが見つからないんですよ。いやいや、故障なんかじゃないですよ。今朝だってちゃんと見れましたから。はい、でね、おかしいじゃないですか？変だなー、参ったなあーと思って何気なくですよ？何気なく部屋を見渡して見たんです。そしたら…人がね、居るんですよ。人ですよ人。空き巣？いや、違うと思いますよ。強盗？それはないでしょう。ストーカー？されてみたいですかなあ。
馬鹿になんかしてないですよ！だってホントにいるんだもん！だから、人ですよ、女の人。どんな人？どんな人って…髪の毛が長いですな。特に前髪が。前髪ダラーンです。服？服はねえ…すけてて良くわかんないな。いや、ネグリジェとかじゃなくて…なんて言ったらいいのかな、え？見覚え無いですよ、あ、あとねえ赤い口紅をベツリと…あ、ご免、口紅じゃないや、あれどうも血ですな、口の回りに血がベトーです。血がベトーの女が空中にフワーです。
あ、そうか、やっと理解できた。あれお化けだ。ハハハハハ。
さて…どうしましょう？逃げたら殺されます？もう遅いかな？
あのねえ、助けてくれないかな？さっきからギロ一見られてるんだよねえ。
こういう場合は何？叫んだ方がいいのかな？分かんない…分かんないって何だよ。

これ冗談じゃないからね、ホントだから。からかってなんかいないって！おいちよっと待てよ、お前電話切ろうとしてるだろ？またか？またか警察よ？警察の仕事は市民の安全を守ることだろ？俺今もの凄く危険だぞ？見過ごすのかよ？頼むよ、助けてくれよ！テレビだってさあ、きっとあれだよ、テレビなんか見ないで私を見てって事なんだよ！お化けのくせに彼女面してるんだよ！独占欲の強い彼女面したお化けがそこに居るんだよ！本当だって！見に来いよっていうか助けに来い！早く！俺？俺だってそっちに行きたいけどさあ、彼女がすぐ行くぞなんだよ。だから！俺が逃げようとしたらすぐ行くその態勢とってるような気がするんだよ！あれだよ、水泳のスタートみたいな感じだよ、こう、こう言う具合にさあ！フライング覚悟だよ。

お前馬鹿じゃないの？嘘なんかついてないよ！いるか？こんな嘘わざわざ警察に電話してつく奴？まあ、いそだけさあ、俺は違うんだって！ちょ！ちょっとまて、わかりましたってなんだよ、なんだよその言い方。切ろうとしたな？まとめようとしただろ？あーもうどうしたら助けに来てくれるんだよ！ホラ！笑ってるしさあ！笑ってるんだよ！なんかこう…笑ってないや、血がこういう具合に笑ってるっぽく…ああ！もう！紛らわしい！いいからこっち来い！みたことある？お化け。見せてやるよ、こっち来いよ。こっち来いよ！来ちゃたよ！ちょびっとこっち来ちゃったよ！お前じゃない、彼女が勘違いしてこっちにきちゃった！50センチくらい！あれ？あたしじゃなかった？って顔！お前は来なくていい！お前は来いよ！だから違うって！あんたじゃなくて！あ、ちょっと待て！おい！お前！ちょ！…

電話は切られたようだ。

男 …前髪、長いですね。

(間)

男 ご免なさい。…どこかで会いましたっけ？あったことないですよ？いま、そこにいらっしゃるって事はつまり、成仏されてないわけですよ。何か、思い残すことがある、もしくは、誰かに恨みがある…ねえ。でもね、その中に僕は入ってないと思いますよ？だって会った事ないでしょう？会ってたらねえ、忘れませんよ、こんな美人と！ねえ！美人と！ねえ！だから！はっきり言うと、部屋、間違えてますよ。僕じゃない。僕はあなたと会ったことがないつまり！恨みを買うような真似はしていない。あなたが誰でも良いから呪ってやるなんてそんな人でなしだとも思えない何故なら！あなたは美しいからねえ！美人だ！ねえ！美人だねえ！…誰にでもありますよ。間違いはね。恥ずかしいこと無いですよ？すくなくとも僕は幸せだった。少しの間とはいえ、こんな美しい人と一緒に時間を過ごせたということ。でもね、悲しいけど別れよう。ああ！辛いなあ！でもしょうがないや！諦めよう！ね！ねえ！さよならしよう！ねえ！目！つぶるから。目つぶって5秒数えるから。その間に出ていってくれ。そしてもし良かったら隣の部屋の大学生に会って行って

くれ。彼ならきっと君を幸せにできるだろうからねえ！ねえ！いくよ！せーの、1、2、3、4、5！

おそるおそる目を開ける。

リモコンを手に取りボタンを押す。

男 （テレビのスイッチはつかない）…はあ。5秒たちましたよ？
これはあれかな、要するに、僕に何か訴えかけたいことがあると。そういうことですか？…それともまさか、僕を呪い殺しに来たとか？いや違う！違うなあきっと！あんたそんな事するような人じゃないよ。だからきっと、僕に助けを求めていると、そういうことなんですよ？そうだ、そうだきっと。
…どっち？
…何で喋らないのかなあ…いや！やっぱり喋らないで！違う違う、喋ったら恐いとかそういう事じゃなくて、あの、そう、喋らなくても分かりますよ。伝わって来るなあ、あなたの無念が。あー、来た来た、成る程、つまりこう言うことですか。あなたは…えーと、いや、ちゃんと伝わってますよ！あなたは、長い間の闘病生活の果てに若い命を…違うかな？病気じゃない。じゃあ、ははあ、その表情から察すると…誰かに殺された！でしょ！会社帰りに暗い夜道を歩いていると誰かが後ろからついてくる。早足で逃げようとするあなた。しかしなおもついてくる。あなたは意を決して立ち止まり振り向いた。警察呼びますよ！…あなたは…へへへ…いったい何の…ウリャアアア！グサ！刺されたー！スタスタスタスタ…何で…悔しい…ねえ！そうだ！そうでしょ！ズバリ殺されちゃったわけだよあんたは！ハハハ。成る程成る程わかりました！犯人はまだ捕まってませんね？
無念でならないあなたは僕に犯人を捕まえて貰おうと思ってこうして僕の前に立っているわけだ。うんうん。…しかし…何で僕なのかな？いや違う！嫌なんじゃないですよ？こちら辺一体でもっとも頼りになる男ですからなあ僕は。
ズバリ！犯人はあなたの知り合いだ！顔見知りの犯行とみてまず間違いないでしょうなあ。殺される直前にあなたが言った言葉、あなたは…そこにこの事件の全てが潜んでいるといっても過言ではない。
ズバリ犯人は！…これねえ、あなたが直接言うのが一番早いんですよ。あなた全てを知ってるわけだから。僕がこうして推理しているのも何かおかしい話でね。一番手っ取り早いのは、あなたが犯人の名前言って、僕が警察に届ける。それで全てがおわるんですよ。それともまさか？…僕は犯人を殺さなくちゃいけないとか？いやあ、それは無理だ！僕ねえ、足首とか滅茶苦茶細いですよ？一回女子高生に羨ましいって言われたことあるくらいですから！そういう依頼ならホラ、隣に大学生住んでるから。あれきっとラグビー部だなあ。ね、そいつに頼んで下さいよ。僕は無理、役には立ちませんよきっと。あー残念だなあここまで来て。ねえ、今日は遅いから明日頼んでみることにして、何か食べます？
あ、そうだそうだ、田舎からね、野菜を送ってきたんですよ。
野菜はいい。ねえ、あるんだー野菜、料理しますから。ねえ、食べてって。ねえ。

よいしょと、ああ、ナスがあるなあ、これはいい、こいつをね、こうして、これで、もう一つ、出来た！さあ、どうぞ！

ナスに4本の楊枝が刺さっているもの

男 …いや、違いますよ。お盆の時にね、ホラ、ねえ。
おばあちゃんがね、昔行ってました。これはね、死んだ人が乗る馬…牛だっけな、どっちでしたっけ…牛かな、デブプリしてるから。死んだ人が乗る牛なんですって。…モーモー。テケテケテケテケモーモー…。あれ、やだなあ、違いますよ？これに乗って出ていってくれとかそういう意味じゃないですよ！ただホラ、足があった方が何かと便利じゃないですか。ねえ、モーモー。あれ、何か言ってますよ？モーモー、遊びに行きましょうよー、モー退屈だー…
どうぞどうぞ、僕のことは気になさらずに、行ってきて下さいよ。
僕はね、テレビ見て飯食って寝ますから。ね、それで明日、大学生に。はい、じゃあそういうことで。

リモコンのスイッチを入れる。つかない。

男 …成る程。そりゃ嫌ですよねえ。女の子が牛に乗るのは嫌ですよねえ。昔の嫁入りじゃないんだからねえ。じゃあどうします？ここにいる？今日はここにいます？分かりました。じゃあとりあえず、前髪切りましょう、恐いから。恐くはない、あの一、綺麗な顔が見えないの残念ですからね。それでお口の周りを拭きましょう。それだけで今より随分お互いの関係がスムーズになると思うんです。
それでテレビ見せて。そうしたら僕もう他に何にもいらない。居て良いから、そうしたらここにいて良いから。ね、そうしましょう。テレビでも見て気を紛らわせましょう。ね、はい。

リモコンのスイッチを入れる。つかない。

男 …見ようよテレビ！あんまり居ないよ？こうして長々と幽霊とお喋りし続ける奴。もういいでしょ、楽しかったでしょ？馬だ馬。これ馬でした。早いよ馬は。ホラ、乗馬とかさあ、おしゃれじゃない。お嬢様って感じだよ。だからねえ、これに乗って天国に行って、僕のこと見守ってくださいよ、ね。犯人は僕が捕まえておきますから。大丈夫大丈夫、いざとなったら隣の大学生連れていきますから。いやあ、楽しかったですよ、有り難う御座いました。

リモコンのスイッチを入れる。つかない。

男 思い出作ろう、最後に思い出をさ！ね！写真撮ろう。あのホラ、カップルが良くやる撮り方で！ねえ！それで満足して二人は別れよう！

コレコレ、丁度一枚余ってるからさあ。いくよ、動かないで、ね、こんな感じかな…

はい行きます、親子で…ブー！はい良かったー、ね、有り難う、はいテレビ見よう

リモコンのスイッチを入れる。つかない

男 お前この野郎！もう頭きたぞ！何か長いことしゃべり続けてたら怖さが麻痺してきたから言わせて貰うけどな、ここは俺の家なんだ！家賃だって俺が払ってるんだよ！お前払ってる？払ってない！じゃあ出てけ！馬に乗って出てけ！なんだよ、殺すなら殺せよ、殺すなよ！何だ何ださっきから、黙って俺を見続けやがって！悲しそうな顔すんな！俺の方が三割り増しで悲しいっていうんだよ！いいか？お前は死んだの、死んだの！俺は生きてるの。生きてるの！俺達は住む世界が違うわけ。出会っちゃいけない二人な訳！呪うか？呪えよ！その代わり俺も呪うぞ！凄いぞ！いいか？こんどテレビ見せてくれなかったら凄いぞ！いいか？いいな！

リモコンのスイッチを入れる。つかない。

男 前髪切れよお前は！

隣の部屋からドン！と言う音が

男 ホウ怒られた。うるさいからお前が。恐いんだぞあいつ。怖さの種類が違うんだ。この間なんかな、俺の家の前にこけしが20体くらい綺麗に並べられてたんだぞ？こわいだろ？絶対アイツだよ。何をしでかすか分からない怖さがあるんだよ。だからさあ、俺これ以上アイツを怒らせたくないんだよね。分かるでしょ？だからおとなしくしよう。おとなしく俺にテレビを見せてくれ。そうしたら…そうしたらここにいて良いからさあ。

リモコンのスイッチを入れる。テレビがつく。

男 あ…

おそろおそろお化けが居た方をみると

男 いるの？ここに？しばらく？…うなずいたね、今。

間

男 何もしないでよ

段々と暗くなっていく。暗転。

舞台明るくなるとそこは男の部屋。

そこには誰も居ない。しばらくすると男が会社から帰ってくる。

男 …はあ。…ただいま。

…ただいまって言うのも何か変な話でね。

いやいやあ、ちょっとこれ見てよ、写ってたよ写真。

店員さんびっくりしてた、そりゃビックリするよなあ。こんなにハッキリ写ってるんだもん。ねえ。

まさか写るとはなあ、冗談半分で撮ったのにさあ、これ心霊写真だよねえ？凄いなあ。

…でも…何でピースサインしてんの？

おかしいだろ？こんな心霊写真見たこと無いよ？お化けがピースサインしてる心霊写真なんてさあ。

少なくともあんた平和ではないだろ、死んでるんだから。

で、また、俺が思いっきり笑っちゃってるんだコシ。緊張感無い心霊写真だよなあ。

ん？…あれ？口の回り、やけにさっぱりしてるねえ。拭いた？血拭いたの？

うん、その方がいいね、その方がいいんだけどさあ、別にあれよ？

そういう気遣いはいらないからね？

そりゃ確かに、少しは恐くなくなったけどさあ、それはあれでしょ？

血を拭けばここにいても文句言われなくて事でそうしたわけでしょ？

こうなったらハッキリ言わせて貰うけど、俺は君が口の周りの血を拭いてもそんなに嬉しくないのよ。

君が成仏して、成仏しなくてもこの部屋から出ていくこと、それが俺にとって一番嬉しいことな訳。

俺もね、今日ここに戻って来たくなかったんだ。実はね。

友達の家にも泊めて貰おうと思ったんだけどさあ、一つ問題があってね。

俺友達居ないんだー。ホントに居ないの。

帰ってくるしかなくてさあ、それでも期待したけどね、お前が居なかったらいいなって期待したけどね。いたねえ。しっかり居た。

見てよホラ、借りちゃったよエロビデオ。しかも三本も。

今夜はエロビデオナイトにしようと思ったのにさあ。居るもんなあ、しっかり。

しかもおめかしまでしてさあ。余計再生ボタンが押しにくくなったよ。
…さてよ、何で俺はこんなに奴のことを意識してるんだ？
相手は幽霊だぞ？居て居ないようなもんだ。そうだ、そうだよな。
そうだよ、大体何で俺が遠慮しなくちゃいけないんだよ。
ここは俺の家だ、俺が俺の家で何をしようが勝手だ。幽霊？居ないよそんなの。
いても気にしないって。だって考えてみてよ、人には誰にでも守護霊がついてる
わけでしょ？見えないだけで普段から俺の周りをフワフワしてるわけだ。
守護霊は俺の全てを知っている。嬉しいときも悲しいときも恥ずかしいことをし
ているときも常に一緒に訳だよ。
それを今更ねえ、急に恥ずかしがるって言うのも変な話でさ、見られてるわけだ
から、色々。エロビデオを見ているところを誰かに見られる。コレは恥ずかしい。
エロビデオを見ているところを幽霊に見られる。これは恥ずかしくない。あ、な
ーんだ。恥ずかしくないや。
何も変わらないんだからな。そうだよ、一緒一緒。
ここには俺以外誰も居ない。居るけどね。居ないから大丈夫。
マイペースマイペース。保って行こうよマイペース。
そうだよな、俺今日仕事からエロビデオのことばかり考えてたのにさ、それ
をしないってことになったら今日一日が何の意味も持たない一日になってしまう
からな。さ、見よう見よう。見まろう！エロビデオ！
…恐れるな、大丈夫大丈夫。見るぞ、…よし！見る！
…ためらうな…俺なら見れる俺なら見れる。…お前なら見れるお前なら見れる！
よし！…何を迷ってるんだよ、見ちゃえよ、見ちゃえって、関係ないじゃん。
楽しみにしてたんだろ？…そうだよな。よし。…駄目だよ、そんな事しちゃ、女
の子が見てるんだよ！エチケット違反だよ！…やっぱりそうか、うん。何言っ
てるんだよ、見てるって言ったって幽霊だろ？放っておけよ幽霊なんて。幽霊だっ
て見られていることには代わりはないよ！恥ずかしいじゃないか！恥ずかしい？
恥ずかしいことあるかよ、なあ。…まあな。恥ずかしいよ！…恥ずかしいよな？
じゃあ、見るのやめてもいいんだぜ？お前の大好きなエロビデオをな！やっぱり
見よう。彼女に対して失礼じゃないか！失礼？失礼じゃないか！
こいつの趣味を邪魔する方が失礼だろ？こいつはなあ、エロビデオ見てる時が
一番生き生きしてるんだよ！それはそうかもしれないけど…そうなのかよ！
見ようぜ見ようぜエロビデオ！駄目だよ！見ろよ！駄目！見ろ！駄目！見ろ！
うるせえー！
…何をしてるんだ俺は…
…まあ、あれだ。間をとって今日は見ない。でもあれだからな、これ返却が三日
後だから。明日には出ていってくれよな。
そしたら見れるから。うん。
…さて、そうなるであれだな。暇だな。俺今日これ見ることしか考えてなかった
からさあ。時間をどう使って良いか分かんないなあ。
何かする？何する？お前喋らないしさあ、話し相手にならないじゃない？

前髪切るか？切ってやるよバツサリと。な、そうしよう。よし。
あ！触れるの？どうなんだろう。…ちょ、ちょっと失礼。
…透けるなあやっぱり。ねえ、透けるねえ、触れないねえ。
触れないんだ…幽霊はやっぱり触れないんだねえ。
じゃあ前髪切れないな…どうしよう。
うーん…待てよ。俺は何でこいつと何かしようとしているんだ？
ほっとけよ！なあ！あぶねえ！ガンガンあっちペースに引き込まれてんじゃねえかよ。
こいつは幽霊だ。日常生活の敵だ。安定した精神レベルの侵略者だ。
悪霊だ、お前は悪霊だ。悪霊退散だ、悪霊退散だよそうだ！
…お払いして貰えばいいんじゃない？
そうすりゃ一発でしょ！ねえ！
…でもあれなの？お払いして貰うじゃない？で、こう、ギャーって消えるじゃない。痛いのかな、お化け側は。
…ほっとけよ！なにそっちの気持ちになってんだよ！いいじゃないそんなの。
やらなきゃこっちがやられるんだ。先手必勝！
…何だその悲しそうな顔は。お前の目的が分からない以上仕方ないだろ。
じゃあ出ていけ。お払いされる前に出ていけよ。そうすりゃ痛い思いもせずすむだろ？
…出ていく気がないと、そういうことだな。分かった。分かったよ。悪く思うなよ。…あ、もしもし？霊能者っていうの？お払いしてくれるところの電話番号教えて欲しいんだけど。どこ？どこでもいいよ。…ああ、じゃあ織田無道！
織田無道の電話番号教えてくれ！…フンフン…フンフンフンフン。よし。
織田無道呼ぶからな。痛いぞー織田無道は。出て行くなら今だぞ。
…この野郎、動かないつもりだな。よし分かった、かけるぞ、いいか？いくぞ？
…苦しいのかな？やっぱり苦しいのかね？どうなの？ギャーっていうからねえ、苦しいんだろうねえ。
…いかんいかん。優しさを捨てるんだ。鬼になれ鬼に！
…電話しちゃえよ、駄目だよそんなの！関係ないだろ、可哀相だよ、全てが終わるんだぞ、お金かかっちゃうよ、金で解決できるならなあ、高いよきっと、払わなくていいんだよ、駄目だよ払わなきゃ、殺しちゃえよ織田無道、駄目だよそんなの！うるせえなあお前は！だって！こいつは鬼になるんだよ！ならない！邪魔をするなら！何をするんだ！ヒューンザク！ああ！ポイ！ヒューポト。電話しちゃえよ、あいつ殺しちゃえよ、ホラ、ホラ、ホラホラホラホラ、セイヤセイヤセイヤセイヤ！お前が死ねっていうんだよ！ブチュ！
…（落ちた天使を拾って）（肩に乗せる）…今日はやめておくか。
まず、お前がどんな奴か知ってからでも遅くないだろ。
…今いくつ？…女の人に年聞くのもな。誕生日は？死んだ人に誕生日聞くのもな。血液型は？俺AB。趣味とかある？俺ビデオ鑑賞。仕事なにしてるの？あ、何してたの？…俺サラリーマン。…なあ、こいつ何にも喋らないよ。

誰に殺されたの？…言えよ！何だよお前！むかつくよこいつ！

電話が鳴る。

男 はい。…もしもし？…もしもーし…なんだよ。（切る）

電話が鳴る

男 …もしもし？…何だよ、誰だよお前、…（切る）

電話が鳴る

男 いい加減にしろ！…もしかして…こんにちは。…あ、やっぱり。え？何で？普通に喋ろうよ、こんなに近くに居るんだからさあ。

…まあ、いいか。

…何か、緊張しますね。え？ねえ。えーと…お名前は…マキコ。はあ、マキコさん。マキコさん…今いくつ？あ、同い年だ。ねえ、僕と同い年。うん。

…さて、え？ああ、仕事ね、仕事大変ですよ、僕リストラ候補ナンバーワンなんです笑っちゃうでしょ？ハハハ…あ、うん、マキコさん仕事は？…花屋？花屋さん、いいですねえ花屋さん。だってホラ、花がいっぱいあるし。花好きなの？そうか、大好きなんだ。いつも花に囲まれていたかった？可愛いねえ。俺？花？花好きじゃない。嫌いな部類に入る。だって何か鼻がムズムズするからさあ。アレルギーなんですよ、花アレルギー。昔からね、最初っから、はなっから花アレルギーなんですよこれがまた！ハハハハハ…ウン。

…で、どうしましょう。え？殺されたんじゃないの？違うの？自殺？病気で？

何か普通だなあ、あ、いや、そうか、そうなんだ。何？何病？何病？白血病？白血病ねえ、そりゃ大変だったねえ、そうかそうか。マキコは白血病でこの世を去ったか。うんうん。…俺関係あるの？無いよねえ？無いよ病気だもん。

何だよビックリした。俺さあ、実はね、俺の知らないところで君のこと殺しちゃうんじゃないかと思ってさあ、ちょっとビクビクしてたんだよねえ！そう！そうなのよ！何だ、白血病で死んだか、よかったー。

俺はねえ、死ぬならあれがいいな。甲子園のマウンドの上。あの一、こういう奴。さあ、ピッチャーあと一球です。あと一球で完全試合達成です。おい、大丈夫でゴウスか？凄い汗でゴウスぞ。…。どこ見てるでゴウスか！戻れよ。

…しまっていごー！麗香、こっち見てるわよ。私のこと見てるわけじゃないでしょ。妬げちゃうな。あの人は私のことなんか。麗香！…何？素直にならないと、夏が終わっちゃうよ。最後の夏が…。プー子…。がんばれー！…私、あの人が好き…。今頃気づいたの？がんばってー！…苦手なのよね、こういうの。

さあ、ピッチャー最後の一球を、投げました！ズバン！ストライクバッターアウト！ウオー！ヤッター！…おい、どうしたでゴウスか？…プラーンプラーン。な、

なんてこったすかー！どうしたのかしら？もうすぐ帰ってくるわよ、麗香の元に。
…

最高でしょ！思いっきり妄想の世界だけどさあ！最高でしょ！ブー子が最高にいい味出してるでしょ！俺死ぬならこういうのがいいなあ！

ねえ、ベッドの上でさあ、おとなしく死ぬよりもさあ、こっちの方がいいよねえ。
…すみません。ごめん！いや、だってさあ、怒った？あーどうしよう、困ったなあ。え？嘘！明日？明日誕生日なの？やったじゃん！おめでとう！…めでたくもないか、死んでるんだもんねえ…いや！めでたいことに変わりはない！やろうよ、やろうよ誕生パーティー！明日さあ、パーッと、陽気に、ねえ！

OKOK！楽しくねえ！死んだ事なんて忘れてさあ！

隣の部屋からドン！と言う音が

男 あ、ヤベ。そろそろ切りますか。今日の朝もねえ、玄関の前に4年分位の週刊ジャンプが並べられててさあ、絶対アイツだよ。参るよホント。お陰で会社に遅刻しちゃったよ。何考えてるんだか。うん、じゃあ、また明日。ハイ。

明日か…明日もいるの？居るよね？…はあ

段々暗くなっていく。暗転

舞台明るくなるとそこはやっぱり男の部屋。そこには誰も居ない。
しばらくして男が帰ってくる。。ひげメガネをつけている。

男 ただいまー。へへへ、どう？どうこれ？いいでしょ？パーティーっぽいでしょ？
玄関の前でこれ付けたんだけどさあ、付けてるところ隣の大学生に見られちゃったよ。参った参った。

…あれ？前髪切った？いいじゃないいいじゃない、その方が全然恐くないよ。

ジャジャン、ケーキ買ってきましたよ。

さてさて、コレをこうして…あとは…（線香を立てる）よし、出来た。

…ん？これ？いや、普通はロウソクなんだろうけどさあ、線香の方がいいかと思って。だってホラ、お墓に線香あげると死んだ人が喜ぶっていうじゃない？

ねえ、これなら一石二鳥でしょ？考えたんだー。

さ、準備できた。

じゃあ行きますか。ハッピーバースデーユーハッピーバースデーユーハッピー

バースデーディアマーキコー…ハッピーバースデーツューユー（拍手）
…何だよ、吹いて、ホラ。…あ、吹けないの？じゃあ、俺が代わりに。
フーフー、あ！何だよコレ！余計燃えちゃうよ！ヤベヤベ、失敗したなあ、
…何？何笑ってるんだよ。俺はお前の為にと思ってさあ…
まあ、いいや。食べようか？食べようかって言っても食べられないか。
…じゃあ、とりあえずお供えと言うことで。おいときますよ。
俺？俺甘い物駄目なんだ。あーいいのいいの、コレはホラ、飾りみたいなもんだから。
…じゃあ、とりあえず苳だけ。頂きます。
ん…うまい。
…俺さあ、前も言ったけど友達居ないんだよね。それ昔からのよ。
だから何て言うの？こういうお誕生日会って言うの？したことないからさあ、実は仕事からずーっと楽しみにしてたんだよねえ。
まあ、幽霊相手のお誕生会なんてしたことある奴の方が少ないと思うけど。
食べて食べて、食べた気になって。女の子は甘い物好きでしょ。
いやーしかし。何だかね、変だねえ。
だってこうして普通に接してる訳じゃない？これは相当おかしいよ？
さっきもさあ、隣の大学生に言われちゃったよ、彼女出来たんですねって。
彼女じゃないのにねえ、お化けなのにねえ、笑っちゃうよホント。
…あ、そうだそうだ、プレゼントがあるのよ。
これはねえ、かなりのもんだよ、驚くぞ、きっと。
（鞆の中から手作りの花を出して）ジャジャーン！
いやいや、花が好きだって言ってたからさあ、どう？どうこれ？
あ、いや、本当はさあ、花買おうと思ってただけど、花ってあれね、高いね。
だからさあ、作っちゃったよ、仕事中に。どう？どうこれ？
…まあ、あれだ、分かるよ、確かに貧乏くさい。貧乏丸出しだよ。
でもコレをさあ、（部屋中にばらまく）どうだ、どうだ、どうだ！
…どう？…何か汚らしいなあ…
あれ？おかしいなあ？俺の想像ではさあ、こう、何て言うの？
お花畑？そんな感じになると思ってただけど…
欲求不満の学生さんの部屋みたいになっちゃったなあ。
…でも俺偉いだろう？偉いだろうって言った瞬間に偉く無くなっちゃうのは分かっててあえて言わせて貰うけど偉いだろう？
偉いよ、絶対偉い。なあ、偉いよな？
偉いんだよ！褒めろよ！全部自分で言っちゃってるけど褒めてくれよ！
褒めてくれないと俺の今日一日が無意味なものになってしまうんだよ。
…今だぞ、感動して泣くなら今だぞ。今こそベストタイミングだぞ。
だってこの数よ？お花畑だろう？
ホラ、ホラホラホラホラ、あ、見て見て、お花の甘い蜜に吸い寄せられてミツバチが飛んでいるよ？

プーンプーン、あっぶねえ、ミツバチかと思ったらクマンバチだった。
お尻でっけえー、でっけえね？
でっけえなあ—————！

隣の部屋からドン！という音が

男 …なんだようるせえなあ、いいじゃねえかよ、なあ？
…何笑ってんだよ。
…楽しいか？…俺さあ、滅茶苦茶楽しいんだよね。
今日もさあ、このこと考えたら楽しくなっちゃってさ、仕事どころじゃなくってさ。
まあ、いつも仕事はやる気無いんだけど。
…笑うなよ、お前がそこで笑ったりするから怖さが感じられなくなったりするんだよ。お化けてこと意識出来無くなっちゃうんだよ。
…まあ、いいよ、笑ってて。いいって。
…どう？花？（笑う）だろ？ニッコリ微笑んじやうだろ？だって大変だったもん。褒めて、もっと褒めて。
楽しいだろ？なあ？
…でだ、そろそろホントの理由を聞かせて貰いたいんだけど。
ホラ、俺の前に現れたホントの理由をさ。
何かあるわけでしょ？そうじゃなきゃおかしいじゃない。
俺、生前君に会ったことある？仕事でもずーっと考えてたんだけどさあ、覚えが無いんだよね。会ったことある？
…あるの？今うなずいたよね？あるの？いつ？どこで？
嘘、え、ちょっと待って、考えるから。
言わないで言わないで、うーん…あ！分かった！…会ったことある？あるんだよね…あ！高校の同級生だ！ねえ！…違うのか。違うんじゃないかと思ったんだけどさあ。
えーわかんねえな、どこだ？まあ、いいや、どっかで会ったことがある訳だよ。
で、その時に俺が君に何かした？失礼なことした？それで怒って出てきた？
首振って、違うんだ。そう、そうなんだよね、どうも怒ってる感じはしないんだよね。だから俺は混乱する訳よ。
怒らせたんなら謝れば良いことじゃない？単純に考えればさあ。
それで迷わず成仏できるわけでしょう？
でもそうじゃないとすると俺はどうしたらいいのってことなのよ。
いや、違うのよ、別に出て行って欲しいからこんな事言ってるわけじゃないの。
俺もね、こうなったらこの状況を楽しむことに決めただけさあ、仕事中に。
ほら、友達居ないしさあ、あんたイマイチ恐くないし。
それは全然問題ないんだけど何かひっかかってさあ。
いや、だから、あんたは何か目的があってここにきたわけでしょう？

それは一体なんなのさって話でさ。
協力するよ？俺に出来ることなら。前にどこかで会ってる訳だしさあ。
…黙ってちゃ分からないでしょう。昨日みたいにさあ、電話で、ホラ。
いつ何処で出会って、どんな話をして、それでここに何しに来たか。
電話でさあ、ホラ。
…友達だろ！友達なの！そう決めたんだから、仕事中に。
友達の中に隠し事は無しで行こうよ。
じゃないと何か気持ち悪いんだよ、モヤモヤするだろ？するの！お前はいいよ？
全てを理解してるからさあ。でも俺は、まあ、会ったことあるの忘れてたのは申し訳ないとして、でもそう言うことってあるだろ？
だからここでハッキリさせようぜ。それから楽しく二人で暮らして行こうよ。
…ホラ、電話！
…言いたくないの？言いたくないんだったら別に良いけどさ、付き合い方変えさせて貰うよ？無視するよ？平気でビデオ見たりするよ？それ俺も恥ずかしいけどお前だって何か恥ずかしい気持ちになるだろ？なるんだよ。
だから言えよ、言ってくれ。言わないと今からビデオを見ます。
三本連続で見ますよ。集中しちゃうぞ？お誕生日会は女のあえぎ声が鳴り響く中で行われることになるぞ、嫌だろ？俺は嫌なんだよ。
しかもかなりマニアな感じのビデオだぞ。
百人中九十五人は不快な思いをするようなビデオだぞ。
いいのか？おい、いいのかよ！

電話が鳴る

男 …それで良いのよ。（受話器を取って）で、どういう目的で？
え？…あ！え？あ、すいません、はい、いや、何でもないです。
いやいや、ちょっと、はい、何でもないんですけど、ハイ。
え？どうしたんですか？電話なんか…え？今からですか？いやあ、今はちょっと…。用事って何かですね、あの一、え？何ですか？
え？あ、そうなんですか、今日誕生日なんですか！おめでとうございます。
それでみんなで飲んでるわけですね？成る程成る程。
え？飲んでない…あれ？じゃあ僕は何処へ行けば…家？家ってのりえさんの？
あーなるほど、のりえさんの家で皆さん集まってお誕生日会を。
え？…誰も居ないって、誰も？嫌われてるんですか？
ああ、すいません。じゃあ俺が行ってもしょうがないでしょう？
…いや、そんな事言われても…嫌いじゃないですよ、嫌いなんてそんな。
いやあ、でもね、一人暮らしの女性のお邪魔するって言うのもねえ、
嫌じゃないですよ、嫌じゃないですけど。あー、成る程、彼氏にドタキャンされたとか？それで俺を…違う、はあ、え？好きだからって…誰を？え？俺を！
…これはあれですか？告白ですかね。ああ、すいません。告白なんてされたこと

ないもので。ああ、そうですか、はーん…
用事？用事なんてないですよ、行きます行きます、すぐ行きます！
家？家分らないですねえ、ハイ、中野駅の…南口降りて…あれ？もしもし！あれ？何だコレ、もしもし！切れた、何だよコレ、

電話が鳴る

男　　もしもし！ご免なさい切れちゃって…あれ？もしもし？…あ、お前ね。ご免な、今電話待ってるからさあ、悪い。（切って）

電話が鳴る

男　　南口降りて！ハイ！…あれ？もしもし？…なんだよ、ちょっと勘弁してくれよ。…まさか…お前電話切ったか？…うんじゃねえよ！何でそんな事するんだよ！お前何考えてるんだよ、馬鹿じゃないの！？私の誕生日会はって、だってしょうがねえだろ？聞いてたろ今。俺に彼女が出来るかどうかの瀬戸際なんだよ。のりえさんって言ってな、会社の先輩なんだけど綺麗な人なんだよ。爺ちゃんが昔言ってた、人生には三度大きなチャンスが来るって。これはきっとそのうちの一つなんだよ！分かってくれよ！明日！また明日やろう、な？今日の続きはまた明日、な！宜しく！（切って）

電話が鳴る

男　　中野駅の南口降りて！何だよお前！いいかげんにしろよ！行かせないつもりか？明日でいいだろ？な、明日、駄目？駄目じゃねえんだよ！何処で出会ったか？いいよもうそんなの！ここに来た理由？明日聞くから！…いや、…だからね…グチャグチャいうな！…お前なんなんだよ…俺はさ、お前のためにここまでしてやったんだぞ？ホラ、お前死んでるじゃない？可哀相だと思ってさあ、楽しく誕生日会やろうと思ってたよ。途中で抜けるのは申し訳ないけど仕方ないだろ？お前と違って俺まだ生きてるんだよ。明日がちゃんとある訳。明日からの素晴らしい人生のために行かせてくれよ、頼むよ。…そうかよ、分かったよ、じゃあ、もういいよ。

ケーキを潰す

男　　出てけよ！終わりだよ、誕生日会は終わり！
ナンミョウホーレンナンミョウホーレン出てけ！ホラ！

隣の部屋からドン！と言う音が

男 うるせえなこの野郎！火付けるぞお前！
…ったくどいつもこいつもよ…

スーツの上着を着て出ていこうと

男 いいよ、中野駅南口周辺をシラミつぶしに当たってみるよ。
今日中に出ていけ、な、邪魔だから。
…なんだよそれ…俺の方が泣きてえよ

男は出ていく。誰も居なくなる部屋。しばらくして男が走って戻ってくる。

男 …！お前…マキコってあのマキコか？中学の時の…
お前、死んだのか。
…悪かったな、忘れてて。あ、いや、忘れた訳じゃないけどさあ。初恋の記憶なんてさ、薄れるもんじゃない？ねえ。
…ご免。…うん、行くけどさあ、…お前何でここに来たの？
…え？そうなの？付き合ったの俺しかいなかったの？はあー、そうなんだ。
おれもあれから全然でさあ、そうか…え？いや、まだのりえさんと付き合うって決まった訳じゃ…うん。
行くよ、うん、分かってるって。
そうか…お前、まだ俺のこと好きなの？…そうだよな、そんな訳無いよな、いや別に自惚れてるわけじゃないよ、違うって。
よし、じゃあホラ、また明日、な、色々とさあ、つもる話もあるじゃない？続きはまた明日、ね？
え？…もう行くって…ゆっくりしていけよ、そんな事言わないでさあ。
時間？時間なんてたっぷりあるだろ？お前死んでるんだから。
今日で四十九日だから？何だよそれ、気にするなよそんなの。
四十九日も五十日もかわんねえよ、な。
だろ？そうだよ。
俺？行くよ、もう行くって、心配すんなよ、
…行くから、うん。
悪かったな、ケーキ。
のりえさんと幸せになって…やめろよ照れるじゃねえか。お前もな、お前も幸せに…あ、まあ、あれだ、その、うん。
わかってるよ、行くって。
…うん、じゃあ、また明日。

出ていこうと

男 俺な、お前のこと、忘れてた。
(笑う) 笑うなよ、じゃあ、行って来る。

男が出ていく。部屋の明かりは段々暗くなっていく。暗転。

舞台明るくなるとそこは男の部屋。そこには誰も居ない。
しばらくして男が帰ってくる。

男 …ただいま…
おーい、おいって。
いやー、凄いんだ年上のテクニクは！さすがの俺も参ったよ。
…おい、おいって！
…何だよ…

テレビのリモコンを持ち、スイッチを入れる。つかない。

男 あれ？あれ？おい、なんだよ、居るの？

テレビのスイッチが入る。

男 あれ…接触悪いのかコレ…

静かな部屋にテレビの音だけが流れる。
男がケーキを見るとそこに何やら紙が一枚

男 何だコレ…死んだら付き合ってください…天国で待ってます…
…(笑って)…死ぬかよ！
(ケーキをぺろっと舐めて) まじい

音楽が流れる。テレビの音は消えていく。男はテレビを見続けている。
今日もまた、いつも通りの一日が始まる。

暗転

終わり